

# JICA × グローバル人材

日本と世界の“今”と“未来”を担うグローバル人材。  
開発途上国の発展に向けて活動しているJICAは、  
グローバル人材の育成、活躍のためにさまざまなプログラムを提供している。

## STEP 01 育てる

未来を担う若い世代に必要なのは世界を“知る”こと。  
JICAは小中高生や教職員を対象に、途上国の現実、日本の国際協力を知り、行動する場をつくっている。

### 開発教育

JICA職員やJICAボランティア経験者による出前講座、途上国やODAについて学ぶ研修などを国内外で実施。学校での学びが、子どもたちの視野の拡大につながっている。

### 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

自身の経験や授業での学びを通じて、途上国や国際協力について考えたことをつづったエッセイを募集。世界に対する“思い”を文章にすることで、自分を見つめ直すきっかけにもなっている。

### 「世界の笑顔のために」プログラム

使わなくなった教材や福祉関連用品、スポーツ用品、楽器などを募集。JICAボランティアを通じて現地に届ける。身近なところから途上国とつながり、国際協力に踏み出す一歩となる。

### 小さなハートプロジェクト

青年海外協力隊員の活動を支援する寄付プログラム。寄付者には、支援先の協力隊員の活動写真などを掲載した報告書を送付。途上国や国際協力に興味を持つきっかけとなる。



## STEP 02 育つ

自分の持っている技術や経験を世界で困っている人たちのために生かしたい。  
JICAは国際協力に関心のある人が途上国というフィールドで学び、活躍する場を提供している。



### JICAボランティア

青年海外協力隊は20～39歳、シニア海外ボランティアは40～69歳。派遣期間は原則2年。1年未満の短期ボランティア、勤務先に身分を残したまま参加する「現職参加制度」、派遣内容を各企業の要望に合わせた「民間連携ボランティア制度」もある。現地の人々と試行錯誤しながら活動することで、コミュニケーション能力や柔軟性などを身に付けることができる。

### NGO人材育成研修

NGOの組織強化のため、若手スタッフを対象に研修を実施。研修の一環として事業計画を作成し、JICAが事業化に向けてサポートする。途上国開発のノウハウを得ることで、現場でのより実践的な支援につながっている。

### 地方メディア派遣

国内の新聞社やテレビ局を途上国に派遣し、国際協力の現場取材してもらったプログラム。地方メディアにも海外や途上国に目を向けてもらうと同時に、各地域の媒体で発信してもらうことで、国内の国際協力への理解増進を促している。

## STEP 03 活躍

日本国内にいなから、グローバルな視点で世界とかわる。  
JICAは日本全国の自治体や教育機関、NGOなどが持つ強みや技術を生かし、日本を舞台に共同事業を展開している。

in 日本

### 草の根技術協力事業

NGO、地方自治体、大学機関などが途上国で実施する事業をJICAがサポート。それぞれの専門性や技術、強みを国際協力に生かすことで、各団体の組織力アップ、国際化にもつながっている。

### 研修員受入事業

途上国の政府機関職員などを日本に招き、日本の技術力、地域の強みを生かした研修を実施。“伝える”側に立つことで、日本で研修を受け入れた組織・人材の能力強化にもつながっている。



## STEP 04 活躍

JICAのプログラムを活用して育ったグローバル人材が、国際協力の“パートナー”に。  
その舞台は世界各国へと広がり、JICAとの連携の下、途上国の発展に向けて奔走している。

in 海外

